

平成 29 年度
学校関係者評価 報告書

平成 30 年 8 月 20 日実施
学校法人 エイシンカレッジ
日本ビジネス公務員専門学校

平成 30 年 8 月 20 日

平成 29 年度 学校関係者評価報告書

学校法人 エイシンカレッジ
日本ビジネス公務員専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人 エイシンカレッジ 日本ビジネス公務員専門学校 学校関係者評価委員会は平成 29 年度自己点検・自己評価報告書の結果に基づいて学校関係者評価を実施しましたので以下のとおり報告致します。

1. 基本方針

本学における学校関係者評価は学校自己評価（項目別の自己評価表）を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

また、公表については「日本ビジネス公務員専門学校 学校評価実施規定」に則するものとする。

2. 出席者一覧表

名前	役職	所属（企業・団体名）
＜学校関係者評価委員＞		
細貝 伸行	支店長	(株)エイエイピー 新潟支店
＜事務局＞		
森 久	学校長	日本ビジネス公務員専門学校
保坂 芳央	副校長	日本ビジネス公務員専門学校
桜井 久史	副校長補佐	日本ビジネス公務員専門学校
安達 徳義	学科長（医療）	日本ビジネス公務員専門学校
岩根 英二	学科長（公務員）	日本ビジネス公務員専門学校
横山 孝	学科長（ビジネス）	日本ビジネス公務員専門学校
＜進行＞		
小林 幹直	事務局長	日本ビジネス公務員専門学校

欠席者

名前	役職	所属（企業・団体名）
＜学校関係者評価委員＞		
田代 克郎	常務取締役	アートビジネスサプライ 株式会社

頂戴

3. 委員会次第（概要）

- ・開催日時 平成 30 年 8 月 20 日（火） 11:00 ～ 12:30
- ・実施場所 日本ビジネス公務員専門学校 503 教室

（1）学校長挨拶

（2）自己評価に関する改善討議

- ①教育理念・目標
- ②学校運営
- ③教育活動
- ④学修成果
- ⑤学生支援
- ⑥教育環境
- ⑦学生の受入れ募集
- ⑧財務
- ⑨法令等の遵守
- ⑩社会貢献・地域貢献

（以上の評価項目に関するご意見・ご提言を頂いた）

（3）施設視察

4. 学校関係者評価委員による評価・指摘事項

① 教育理念・目標

- ・教育理念に関して各学科の現状と課題が理解できた。課題を解決していけるよう教職員のコミュニケーションも強化してほしい。
- ・今後も急速に変化する社会に対応できる人材を育成してほしい。

② 学校運営

- ・健全な学校運営ができていると判断する。
- ・目的に沿った議題や開催頻度、参加メンバーで会議が運営されている
- ・ICT などテクノロジーの進化を学生指導に上手く利活用できるように整備を進めてほしい。
- ・教員の職場が整備された点を評価したい。環境に適した連絡、情報の伝達をおこなってほしい。

③ 教育活動

- ・学科、教員によって IT および ICT の活用状況が異なっている。授業や就職指導が向上するよう学校一丸で取り組んでほしい。
- ・教員が学生に対して授業評価（アンケート）を実施している。授業の質を向上さ

せていく試みなので継続してほしい。

④ 学修成果

- ・教員数の不足気味な学科が見受けられる。対策として「学科を超えた授業の担当制」や「合同授業」「ICT活用による業務の軽減」などを計画している現状が理解できた。学生の学修成果と、教職員の業務改善につながるように学校全体で取り組んで頂きたい。
- ・教職員の採用は、戦略的に計画してほしい。
- ・公務員学科が実施している進路指導（職種別ガイダンス）は、学生に大変有益であると感ずるものである。

⑤ 学生支援

- ・各学科の保護者との関わり方が理解できた。適正であると評価する。
- ・保護者ガイダンスを学校全体で実施したいという構想をお聞きした。保護者が気軽に悩みごとを相談できる場や、他の学生の様子を見学できる機会を設けて頂きたい。
- ・「学生」「家庭（保護者）」「学校」が一体となるよう目指したいという理念をお聞きしたが、一人ひとりの個性を活かせる関係を築けるように実現して下さい。
- ・高等学校に対し、専門的知識を体験できる機会を提供できている。
（進学相談ガイダンスへの参画、オープンキャンパスでの職業体験など）

⑥ 教育環境

- ・ブロック塀など学校設備に関して社会問題になっている。事故防止の安全管理体制が整備されており評価できる。（校内で解決できない案件は関連企業など外部の協力も得て欲しい。）
- ・施設見学（点検）を実施したが、学校運営に必要な設備が完備されている。
- ・今後も施設設備に関する最新動向に注視してほしい。

⑦ 学生の受入れ募集

- ・学生募集活動は適切におこなわれている。指摘事項なし
- ・学納金の未納者対応や、納入に関する相談窓口が整備されている。
- ・経済的に困難を抱える世帯の子供たちに学習の機会を与えるように学費減免制度の充実を図っていきたいという学校の姿勢が理解できた。
社会に優秀な人材を輩出できるよう、制度を実現してほしい。

⑧ 財務

- ・公認会計士による会計監査がなされており運営の透明性が確保できている。

- ・財務状況の情報を公開しており評価できる。

⑨ 法令等の遵守

- ・適正である。法令に関しては、変化の著しい分野なので今後も動向に注目してほしい。また、パンフレットに掲載している学生写真も適正に保護できている。(二次流用のガイドライン化)

⑩ 社会貢献・地域貢献

- ・地元在住の外国人との交流も積極的に行われている現状が理解できた。
- ・ボランティアを通し、学生の自己肯定感、自信につなげているという意見があった。豊かな人間形成につながる考え方である。卒業生の活躍に期待したい。

～学校関係者評価の総括～

平成 29 年度の自己評価として 10 項目の内容を検証した。

早いスピードで変容している現代社会において、専門学校の実存意義も変革を迫られていることを実感した。

将来を予測し、主体的に未来を築いていける人材育成が継続できるよう、委員会も積極的に関わっていきたい。